

関電の原発マネー問題は今どうなっている？

末田一秀（関電の原発マネー不正還流を告発する会共同代表世話人）

「菓子折りの下に金貨」「スーツの仕立券が一着 50 万円」 スキャンダラスな関電の原発マネー不正還流が発覚してから 1 年余が経過しました。今どうなっているのか…

高浜町元助役から 1 億円を超える金品のキックバックを受けるなどという行為は、ワイロの受け取りで犯罪だ。大阪地検へは 3272 人が告発状を大阪地検に提出しました。また、2013 年 5 月と 2015 年 6 月の 2 度にわたって電気料金の値上げをした際に行った役員報酬の減額を闇補填していた問題でも 2172 人が告発状を提出しました。これら告発が 10 月 5 日に大阪地検に受理されました。地検も十分に嫌疑があると判断した結果です。近く強制捜査や場合によっては旧役員への逮捕もあるかも。関電第三者委員会が報告書を出してから、子会社役員計 8 人の計約 1000 万円相当の金品受領が明らかになっています。捜査権を持つ地検がしっかり事件の全容を明らかにすることを期待したいと思います。

関電旧役員に還流した金品は、随意契約により森山氏関連会社に出された工事費等が高止まりして生み出されたと考えられます。（東電は随意契約比率を下げた結果、調達価格が 2 割下がったとされています。）関電が設けた取締役責任調査委員会も、本来よりも高い金額での発注や不要な発注があったと認定し、損害額は還流が明らかになった 3 億 6 千万円を下回らないとしています。ところが、関電は工事等の発注は適正であったとする見解を取り続けており、取締役責任調査委員会が認めた損害を旧役員相手に起こした裁判においても請求していません。

私たちの電気代が適正に使われたのかをあいまいにすることは許されず、事実を誠実に認めるところからしか信頼回復は行われません。

私たちは、裏金を通じた地元工作や金品提供が政治家に及んでいなかったのかなど真相究明を求め続けなければなりません。その声をさらに広げるためのツールとしてブックレットを刊行しました。ぜひご一読をお願いします。

ブックレット「関西電力 原発マネースキャンダル ～利権構造が生み出した闇の真相とは～」

注文は ksueda@nifty.com 又は FAX 0 7 2 - 7 7 7 - 9 2 6 9
1 冊 1000 円 + 税 税抜き、送料当方負担でお届けします。

